

GIFA ふれんどしっぷ

Gifu Hachiman International Friendship Association

Vol.23

発行
郡上八幡国際友好協会
事務局
郡上市八幡地域振興事務所
総務管理課内
☎0575-67-1122
www.gifa.jp
E-mail:office@gifa.jp

郡上八幡城もみじウオーキング

毎年行っているトレッキング交流事業を、H18年11月18日(土) 岐阜大学日本文化研究生(日研生) 6名を招いて「郡上八幡城もみじまつり」の開催に合わせて行いました。



本日、日研生の皆さんのお供で、八幡城の紅葉祭りに出かけました。紅葉狩りと称して、昨年まで幾度となく時間とお金を使って、京都や御在所、近場では高山などに出かけていました。しかし身近にこんな素晴らしい所があることを今日の今日まで知りませんでした。もう今日は大感激で……興奮冷めやらめところです。協会に携わっていたお陰で、本当に郡上八幡の美しさを再発見です！
(郡上八幡国際友好協会・山田)

ボランティアテーマに講演

昨年設立された郡上市国際交流推進協議会の共同事業として、H18年11月16日(木)大和町の道の駅・古今伝授の里やまとで、愛地球博でボランティアのまとめ役だった愛知県国際交流協会の栗木梨衣さんを講師に迎え、「国際交流におけるボランティアの役割」と題して講演を開きました。講演後、参加者らと再来年開催予定の「スノーボードワールドカップ」について、市民参加の在り方を尋ねる質問など意見交換を行ないました。



ル」受入を行いました



(郡上市和良町 筒井さん)

今年初めてホームステイを受けさせて頂きました。どんな子が来るのかな、何を食べてもらったらいいかな、会話は大丈夫かな、楽しんでもらえるかな、家の大掃除をしなければ・・・。

私の不安やら、ドタバタ準備をしている中で、3人の子ども達は「早く来ないかな」、「楽しみだなあ」と指折り数えて、7月14日を待っていました。一緒に川遊びしたい、ゲームしたい、花火したい。3日間どこへ行くか、何をするか子ども達3人で計画表を作り、待ちきれないといった様子でした。

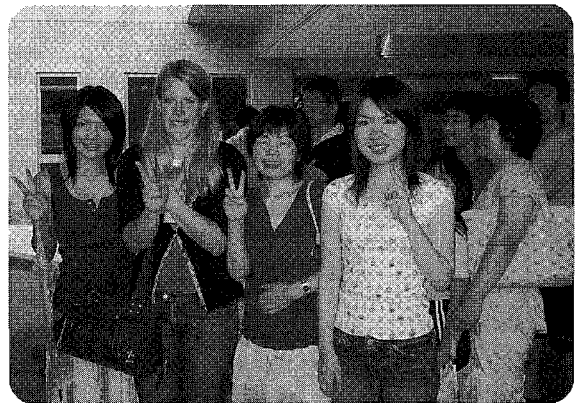
そして迎えた当日。初めて見るスウェーデンの子ども達。我が家に来る子どもはシモン、20歳の男の子。紹介される前に家族で必死にネームプレートの名を探して右往左往。緊張し対面、優しい目をした男の子。

最初は照れくささもあってか、子ども達も会話が出来ないようで後ずさり。「日本の食事は何が好き?」、「ご家族は?」私は質問ばかりしていたような気がします。でも一人息子が増えた3日間の生活はとても楽しいものでした。心配していた食事も、手巻き寿司でおさしみ挑戦、お箸も上手に使えるし、会話も日本語もバッチリ。子ども達も朝から寝るまでシモンにくっついて遊んでいました。

夜は郡上踊りへ、浴衣を着せ、ゲタをはかせ行きました。「足大丈夫?」と何度聞いても大丈夫で、友達と2時間踊りっぱなし。楽しそうに踊っている顔を見て、私まで嬉しくなりホームステイ来てくれてよかったなあと、しみじみ思いました。

日本を楽しみ、来て良かったと感じてくれたらと思い、お城、温泉他いろいろ出かけました。夜は日本の昔遊びをし、ゆっくりしてもらうどころか、3日間はとても忙しい時間になってしまった気がします。シモンはいつもにこにこ笑っていましたが、ちょっと疲れさせたかなと反省。

でも私たち家族にとって、とてもよい経験だったし、いい思い出をたくさんもらいました。本当によい出会いに感謝です。帰ってしまって、とても寂しく、なんだか物足りない日々になってしまいました。又ぜひ機会があったら、ホストを受けたいと思います。楽しい3日間でした。ありがとうございました。



(郡上市白鳥町 野口さん)

サマースクールホストファミリーが終わり、息子がこんな日記を書いていました。

「今日、かん国からホームステイに来た、キム・ジソンさんにかん国語を教えてもらいました。教えてもらったことは、『ごちそうさま』と『いただきます』です。いただきますは、『チャル・モックゲッスムニダ』で、ごちそうさまは、『チャル・モックゲッスムニダ』です。お母さんはおほえにくかったと思いました。でも、ほくは、おほえやすかったです。かほちゃは、ホバック。なすは、ガジ。さつまいもは、ゴグマ。ピーマンはピマンです。よる、10時ごろに、いっしょに花火をしました。また教えてもらいたいので、今度も来てほしいです。」

そして10日ほど後に、私たち家族は、全てのプログラムを終えたジソンさんたちのフェアウェルパーティーに参加させて頂きました。岐阜大学内でのパーティーから帰ってきて、私の心は、何故か八幡でのお別れのさみしさよりも、ほかほかとうれしい気分がいっぱいでした。うかんでくるのは、サマースクールの学生さんたちの、ひとつの課程を終えて満足しているうれしそうなお顔と、それよりもっともっと忘れられないのは、サマースクールの学生さん達のサポートをしていたという岐阜大学の学生さんたちの笑顔と歌声でした。

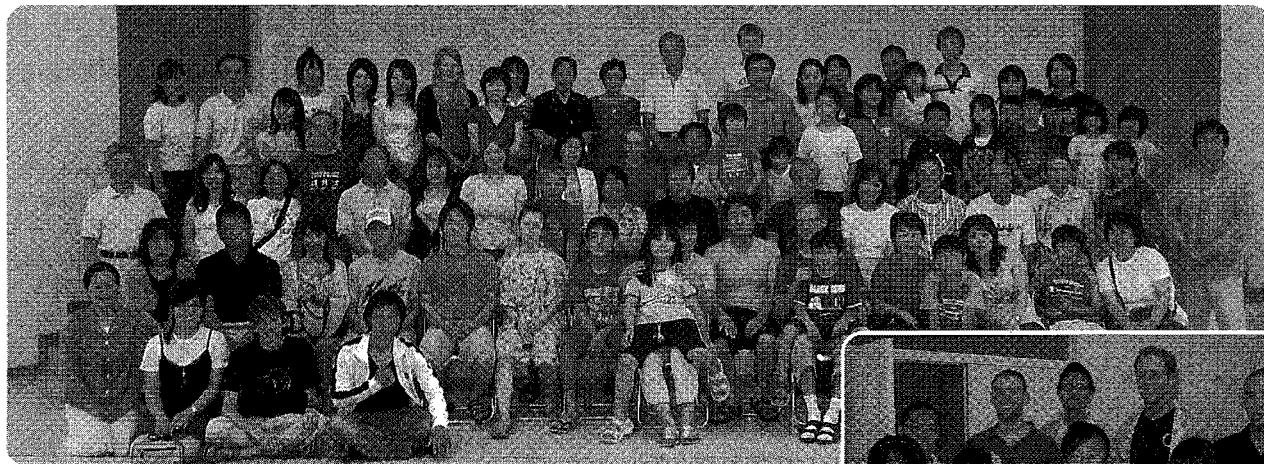
みなさんのいい笑顔と歌を聴きながら、感じたことがありました。それは、同じ日本人でも理解することが難しかったりする中で、言葉や歴史や文化が違って、人と人とが理解し合おうとすることが、こんなにさわやかで、すがすがしいものだという事でした。歌っている表情をみているだけで、私まで羨ましくなるほどでした。

ホストファミリーとして、ほんの少し参加させて頂いた私たち家族が、こんないい気分をおすそわけしていただいて、感謝の気持ちがいっぱいです。本当にありがとうございました。

私と息子たちの今の旬のうたは、もちろんスピッツの「チェリー」!! です。

ジソンさん、みなさんどうもありがとうございました。そしてまたいつかお会いしたいです。

今年度も岐阜大学「サマースクー



(郡上市明宝 山下さん)

前から受けてみたいと思っていたホストファミリー、今回初めて受け、本当に良い経験をさせていただいたと思っています。

我が家には、スウェーデンのカールという青年が来てくれ、3泊4日(実質2日弱)という短い時間でしたが、とても楽しく過ごすことができました。

カールは、魚は食べられましたがベジタリアンということでした。さぼど料理の得意でない私にとって、肉なしで何を作ろうと心配しましたが、どれもおいしいと言って食べてくれました。

土曜日の午後は、共にホストファミリーを受けられた原さんのお家でフィリップと一緒に過ごさせていただき、夕食もごちそうになりました。ゆかたがほしいと言うので、昼間買いに行き、それを原さんに着せていただき、皆で郡上おどり発祥祭へ行きました。覚えてたの郡上おどりを、とても楽しそうに踊るカールの姿がとても印象的に残っています。

日曜日には、大滝鍾乳洞、阿弥陀ヶ滝と流しそうめん、大和温泉へ行きました。流しそうめんは、我が家も初めての経験で子どもも大喜びでしたが、カールもとても喜び、いっぱい食べ、いっぱい写真を撮っていました。夜は、お好み焼きとたこ焼きを食べ、子供達とトランプしたり、ご近所の方と花火をして「カールカール」と話しかけられたりと、すっかり家族の一員のような感じでした。

カールが帰る日、評価会では、どのファミリーの方からも留学生の方からも、それぞれ楽しかった様子を聞くことができました。いろんな過ごし方の中で、それぞれが楽しい思い出になり、どちらのお宅でも貴重な体験をされたことがよくわかりました。

いよいよお別れです。バスに乗る前、カールは私達4人を一緒に抱きしめてくれ、とてもうれしく思いました。バスが出た後、涙がこみあげ、子供達も目を潤ませて、真ん中の娘は号泣でした。お客さんが来て帰られても涙が出てくることはなかったのですが、カールは短い間でも、家族の一員として過ごしたから、こんな涙が出てきたのかなと思いました。

カールは、だいたいの日本語は話すことができたので、基本的なことに困ることはありませんでしたが、スウェーデン語は無理にしても、もう少し英語力が私にあればもっとたくさん会話ができたと思うと残念です。でも子供達とまた勉強して、力をつけたいと思います。そして、あこがれの北欧をいつの日か訪れ、カールに会えるといいなと思います。

貴重な体験をさせていただき、ありがとうございました。

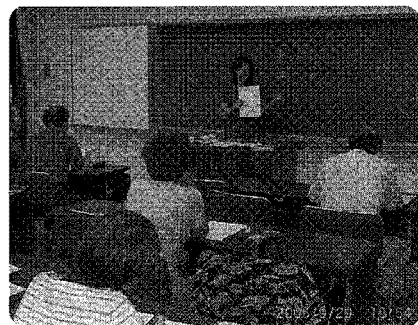


「やさしい韓国・朝鮮語講座」を開催

今年度より新しい事業として、8月25日～9月29日の毎週金曜日、全6回コースで井田光実先生を講師に招き「やさしい韓国・朝鮮語講座」を行いました。講座に参加された明宝の細川清光さんの感想文を紹介いたします。

数年前から韓国・北朝鮮の話術、情報が毎日のように伝えられます。その中には映画、ドラマ・音楽など言葉が分かればもっと楽しめるものも多くあります。

そんな中、郡上でも「韓国・朝鮮語講座」が開催され30名余の人が受講しました。講師は韓国の人でアニョハセヨ?カムサハムニダなど、馴染みのある韓国語が交わされ、韓国のお菓子を食べたり、講師お手製のキムチをいただいたり、韓服を見せてもらったり、また韓国の人々が日本をどのように思っているのかなど韓国語だけでなく韓国そのものも紹介していただき、楽しい講座でした。近くて遠い国と言われますが、韓国語であると実感される講座でありました。後日談になりますが、その時の受講者から引き続き韓国語を学習しようという声が上がリ、韓国語の学習サークルとして続けています。



岐阜大学日研究生と高鷲中学生との交流事業

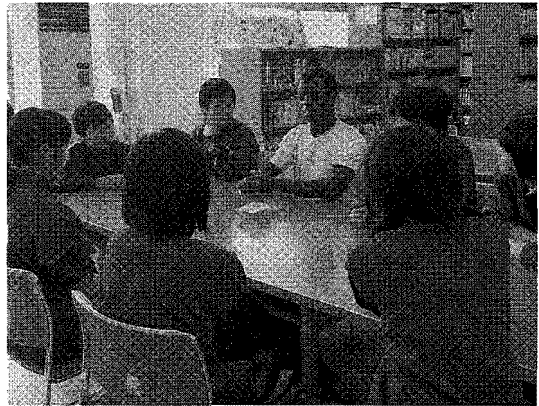
H18年6月23日(金)岐阜大学に日本政府の国費留学をしている6名の留学生達が高鷲中学校を訪れ、生徒達と交流しました。今年は中国のライさん、カザフスタンのアネリさん、タイのピムチャンさん、スウェーデンのマヌエルさんとティモールさん、ブラジルのジェロモニさんに参加していただきました。その中からタイのピムチャンさんの感想文を紹介します。

中学生と異文化交流ができて本当によかった。授業の前、どのような授業か日本の中学生はどんな人かと思い、緊張していた。

しかし、学校についた時、校長先生や中学生たちは温かく歓迎してくれた。本当に感動した。特に歓迎の歌は非常にきれいだった。中学生の話では歌の授業がある。このような授業はタイの中学校では有り得ないことなので、日本の中学校の授業は面白いと思う。

学校が終わった後、留学生は中学生のサークルに参加させてもらった。私はソフトボールのサークルに参加してみた。ソフトボールとはどのようなスポーツか私は全然知らなかったが、実際にやってみると好きになった。本当に面白かった。スポーツをやるのは久しいので、早く疲れたが、皆と一緒にやってよかった。非常に楽しかった。

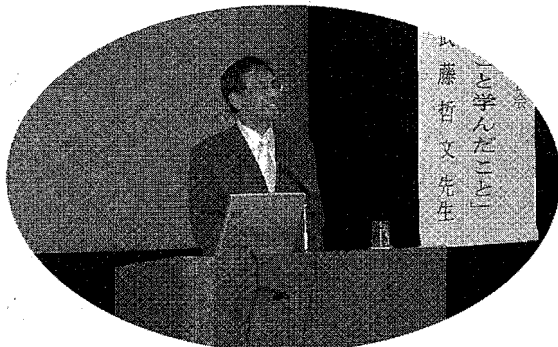
ホストファミリーのお母さんと娘さんは非常にやさしかった。多くの面白い場所へ行き、様々な体験ができた。例えば、釣りや温泉などだ。近所の家にも連れて行き、紹介してもらい、皆は私にやさしくしてくれて心からありがたい。しかし、ホームステイの時間はごく短かったと気がした。次回はもっと長く滞在期間を延ばしてもらったらいいと思う。



『郡上市から海外へ 体験レポート シンガポール日本人学校編』

－第1回国際理解学習会－

H18年5月25日(木)、国際理解学習会として今回は、八幡小学校で勤務の後、日本人学校の教諭として家族と共にシンガポールに渡り「小学部 クレメンティ校」にてご活躍された武藤哲先生をお迎えして、3年間にわたる現地での活動体験や、日々の生活の中で感じられた事など、いきいきとした生の体験談を語っていただきました。



会員募集中

郡上八幡国際友好協会では会員を募集しています。年会費は個人3,000円、団体10,000円です。

年会費は、留学生の受入や学習会、料理を楽しむ会などの事業や広報活動の費用として大切に使われます。

国際交流事業の企画に関心があり、一緒に手伝ってくださる方も募集しています。

【お問い合わせ】

郡上八幡国際友好協会事務局
TEL 67-1122(内線162)

ホームページも更新中!
どうぞご覧ください。

www.gifa.jp